ガバナンス

株主・投資家との対話

ガバナンス
- 株主の皆さまに対して
- 機関投資家の皆さまに対して
- 個人投資家の皆さまに対して

取り組み
- 主なIR活動
- エンゲージメント活動の実績（2024年度）
- 投資家との対話を踏まえた取り組み

株主・投資家との対話

ガバナンス

当社は、株主・投資家をはじめとするステークホルダーに、適時適切に情報を開示するとともに、双方向のコミュニケーションを積み重ねることが、当社の企業価値の適正な評価につながると考えています。当社グループの持続的成長と中長期的な企業価値向上に資するよう、コーポレートガバナンス・ガイドライン第25条において株主等との建設的な対話を促進するための方針を定めています。

対話を通じて株主・投資家の皆さまからいただいた貴重なご意見は、経営陣に対し定期的かつ適時に報告し、経営の改善に役立てています。

株主の皆さまに対して

当社では、株主総会を最も重要な対話の機会と位置付けており、株主の皆さまの意見を真摯に受け止め、丁寧な説明と回答に努めています。当日ご参加いただけなかった株主の皆さまのために、公平な情報開示の観点から株主総会当日の様子を撮影・公開しており、動画でご視聴いただけます。

Link 詳細は以下をご覧ください
https://www.nyk.com/ir/stock/meeting/

機関投資家の皆さまに対して

機関投資家の皆さまに対しては、四半期ごとの社長・経営陣による決算説明会のほか、スモールミーティング、事業説明会などを開催しています。また、国内外の機関投資家への訪問、個別取材への対応なども実施しており、当社戦略の理解を得られるよう努めています。

個人投資家の皆さまに対して

個人投資家の皆さまに対しては、個人投資家向け説明会を実施し、プレゼンテーションと質疑応答を行っています。

Link 詳細は以下をご覧ください
https://www.nyk.com/ir/library/investors/

取り組み

主なIR活動

活動	詳細
機関投資家向け	・決算説明会の開催 ・個別面談対応 ・欧米・アジアなどの海外投資家への個別訪問対応 ・事業説明会の開催 ・スモールミーティングの開催
個人投資家向け	・個人投資家向け説明会に参加
ウェブサイトでの公開	・株主総会招集通知 ・有価証券報告書／半期報告書 ・統合報告書（NYKレポート） ・決算短信 ・決算説明会資料 ・機関投資家向け決算説明会 動画配信（質疑応答を含む） ・適時開示資料 ・IRファクトブック・IRデータブック ・各種サステナビリティ関連資料（NYK Group Decarbonization Story等）
その他	・当社に対する市場での期待・評価の社内フィードバック（証券アナリストによる講演会）

株主・投資家との対話

ガバナンス

株主・投資家との対話

ガバナンス
- 株主の皆さまに対して
- 機関投資家の皆さまに対して
- 個人投資家の皆さまに対して

取り組み
- 主なIR活動
- エンゲージメント活動の実績（2024年度）
- 投資家との対話を踏まえた取り組み

エンゲージメント活動の実績（2024年度）

■ 投資家向け説明会

説明会種類	開催回数または開催時期／参加者数	内容	主な説明者
決算説明会	年4回／計500名	四半期・通期決算実績、業績予想、中期経営計画の進捗等	代表取締役社長・社長執行役員、代表取締役・副社長執行役員
事業説明会	2025年1月／117名	コンテナ船・自動車船需給に関する当社調査グループの分析	調査グループ グループ長代理
個人投資家向けオンライン説明会	2024年6月／456名	事業概要、業績、中期経営計画等	代表取締役社長・社長執行役員
人材戦略、環境戦略およびガバナンスに関する説明会	2024年12月／73名	当社グループの人材戦略、環境戦略およびガバナンスについて、当社の価値創造との関連性や現状抱えている課題意識をご説明	常務執行役員・Chief Human Resources Officer（CHRO） 執行役員・経営企画副本部長 脱炭素グループ長

（注）各種説明会はリモート形式により実施

■ 個別対話

活動種類	開催回数／参加企業数	内容	主な説明者
スモールミーティング※1	6回／42社	経営層による投資家との対談	代表取締役社長・社長執行役員、代表取締役・副社長執行委員 社外取締役
SR※2活動	22社	国内外機関投資家の議決権行使担当者との対話	代表取締役社長・社長執行役員、代表取締役・副社長執行役員、執行役員（IRグループ担当）
個別取材	321回／187社	国内外機関投資家・アナリストとの対話	IRグループ
うち、サステナビリティエンゲージメント※3	10回／11社	国内外機関投資家・アナリストとの対話のうち、サステナビリティに関するもの	IRグループ、脱炭素グループ、ESG経営グループ

※1 証券会社主催を含む
※2 Shareholder Relations
※3 テーマをサステナビリティに絞った対話のみをカウント
（注）リモート形式による実施を含む

投資家との対話を踏まえた取り組み

■ 当社の取り組み例

トピック	取り組み例
事業部門による投資家への説明	機関投資家向け事業説明会の開催 –調査グループによる説明会（2025年1月）
株主還元方針含む資本政策全般	中期経営計画の順調な進捗および中長期的な利益水準の目安が向上したこと、また自己資本の適正化に引き続き取り組むことに加え、投資家・市場の期待も意識し、株主還元の拡充を実施（配当性向・配当下限金額の引き上げ、自己株式の追加実施）（2025年5月）
社外取締役と株式市場の対話	社外取締役スモールミーティングの開催（2024年7月）
資本市場を意識した開示	投資家・市場の当社への理解を促進すべく以下の開示を実施。 ・開示セグメントの変更（事業規模が拡大した「不定期専用船事業」の内訳を開示）（2024年8月） ・中期経営計画で示す2026年度・2030年度（2025年5月）の利益水準目安を更新 ・中期経営計画の事業投資・キャッシュアロケーションの進捗を開示（2024年11月、2025年5月）

当社では、株主・投資家の皆さまとの対話内容を迅速に経営陣にフィードバックする体制を整えています。スモールミーティング、SR活動、ロードショー、証券会社主催のカンファレンス、個別取材等の対話内容や証券アナリストのレポートなどは、IRグループから経営トップに対し週次で報告を行っています。